

【竹原市 校務 DX 計画】

竹原市ではこれまで、クラウド型学校用グループウェアやタブレット端末での学習支援アプリ等により学校現場のデジタル化に取り組み、職員の負担軽減や学習の質の向上に努めてきた。

しかし、国が発表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」（以下、チェックリストという。）に基づく自己点検結果により、クラウドサービスの活用が十分にできていないことや、ペーパーレス化が浸透していないことが分かったため、各種業務等のデジタル化やペーパーレス化を図り、次の通り進めていく。

1 クラウドサービスを活用し、職員会議等のペーパーレス化の推進

上記チェックリスト中の「職員会議等の資料をクラウド上で共有し、ペーパーレス化していますか」の項目について、学校現場の回答は「一部している」が過半数を占めていた。

今後は、必要に応じてクラウドサービスの運用研修等の実施を検討し、クラウドサービスの利用を推進することとし、ペーパーレス化の更なる促進に取り組む。

2 FAX を利用したやりとりや押印廃止に向けた取り組み

市内の多くの学校にて FAX の使用及び押印を必要とする書類が多々あるという現状である。FAX を利用したやり取りは履歴が残らないだけでなく、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因と考えられる。今後、FAX や押印等について制度・慣行の見直しを検討していく。

3 次世代校務 DX に向けた環境整備

現在、竹原市では教育に係るネットワークを「校務系」と「学習系」と分離しており、教職員へは「校務系」と「学習系」それぞれの端末を配備している。

今後は、令和 5 年 3 月に文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境の整備にむけて、県内の市町教育委員会等とも連携しながら、校務システムの導入及びネットワークの統合を推進する。